

南魚沼水稻生育速報 No.6

令和 8 年 7 月 21 日
南魚沼農業普及指導センター

- ・ 1 か月予報では、今後高温に推移する見込み
- ・ 2 回目の穂肥を確実に施用！

1 生育状況（7月21日現在）

管内全体 草丈：長い、茎数：並み、葉数：やや早い、葉色：濃い

田植日	田植日の平均	草丈 (cm) (%)	茎数 (本/m ²) (%)	葉数 (葉) (差)	葉色 (SPAD) (差)
5月10日頃	5/8	86 (115)	491 (117)	12.7 (0.9)	34.7 (1.2)
5月15日頃	5/15	84 (112)	407 (97)	12.9 (1.1)	35.5 (2.0)
5月20日頃	5/19	85 (113)	412 (98)	12.6 (0.8)	35.3 (1.8)
5月25日頃	5/24	78 (104)	381 (91)	11.8 (0.0)	36.4 (2.9)
全体	5/16	83 (111)	421 (100)	12.5 (0.7)	35.5 (2.0)
(参考)指標値		75 —	420 —	11.8 —	33.5 —
	移植日	草丈 (cm) (%)	茎数 (本/m ²) (%)	葉数 (葉) (差)	葉色 (SPAD) (差)
新之助	5/21	68 (105)	518 (94)	12.2 (0.4)	34.2 (0.2)
(参考)指標値		65 —	550 —	11.8 —	34.0 —

※（ ）内数値は指標値比・差

（JA・普及センター生育調査地点の平均、全体の調査地点は18地点）

2 今後の管理

(1) コシヒカリの穂肥の2回目・3回目の施用時期のめやす

- ・ 気温が高めに推移したことから、出穂期はかなり早まる見込み

表 管内生育状況を基にした出穂期予想（7月21日現在）

地域	田植日	出穂期予想	2回目穂肥施用時期のめやす (出穂10日前)	3回目穂肥施用時期のめやす (出穂3日前)
平坦地	5月10日	7月24日	(7月14日)	(7月21日)
	5月15日	7月30日	(7月20日)	7月27日
	5月20日	8月1日	7月22日	7月29日
	5月25日	8月2日	7月23日	7月30日
	5月30日	8月4日	7月25日	8月1日
高標高地 (400m程度)	5月15日	8月4日	7月25日	8月1日
	5月20日	8月6日	7月27日	8月3日
	5月25日	8月8日	7月29日	8月5日
	5月30日	8月10日	7月31日	8月7日

※出穂期予想は今後の天候により前後する可能性がある。

(2) 分施肥系の2回目の穂肥対応

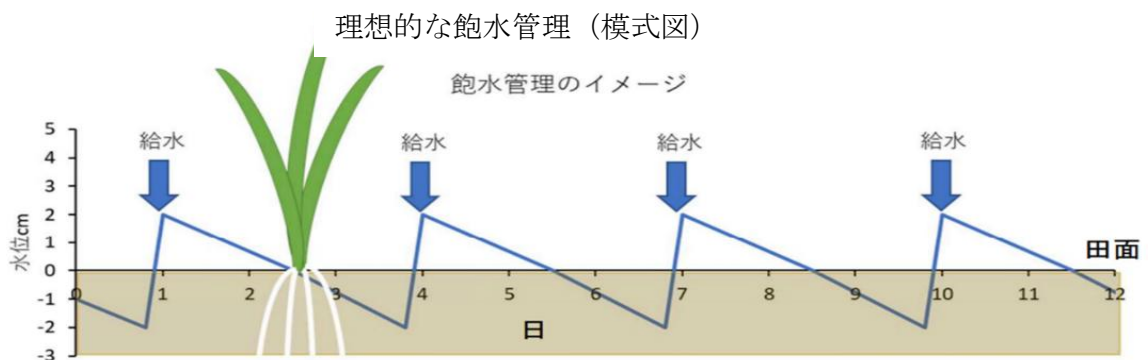
- ・登熟期は高温が予想されることから、2回目の穂肥を確実に施用
- ・2回目穂肥は、葉色や後期栄養を維持し、登熟向上と品質低下を防止するため、出穂期10日前に $N1.0\text{kg}/10\text{a}$ をめやすに施用

(3) 3回目の穂肥（出穂期3日前）：出穂期に葉色低下の恐れがある場合に検討

- ・気象庁が毎週木曜日に発表する1か月予報を参考にし、登熟期に高温が予想され出穂期の葉色がSPAD値32を下回る恐れがあるほ場では、走り穂が見え始める頃（出穂期3日前）までに速効性肥料を施用
- ・分施肥の場合の施用量は、窒素成分 $1.0\text{kg}/10\text{a}$ を上限に施用
- ・全量基肥施肥の場合も、出穂期の葉色がSPAD値32を下回る恐れがあるほ場は施用

(4) 飽水管理の徹底

- ・高温の影響で、一部で水不足が発生
- ・限られた用水を有効利用するために、水尻を止めた状態でかん水と自然減水を繰り返す飽水管理を徹底



(5) 斑点米カメムシの防除

- ・本田への進入を防ぐために、7月中・下旬に一斉草刈りを実施

農作業中の事故防止や熱中症対策として、こまめな休憩と水分補給を行いましょう。

問い合わせ先 作物担当

電話 772-3337 / FAX 772-2612